

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ドリーム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ドリーム

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：

フレアーの幅 インチ

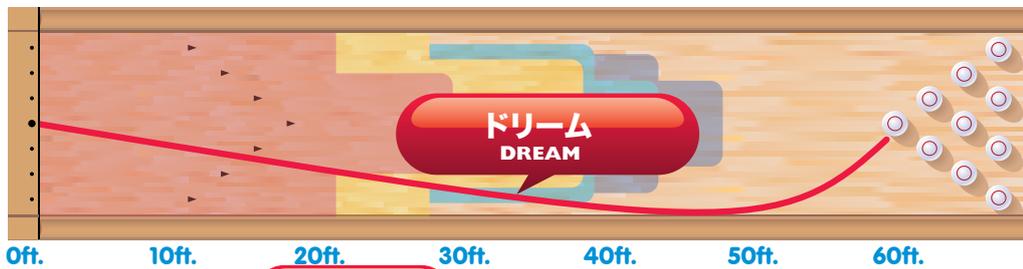
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

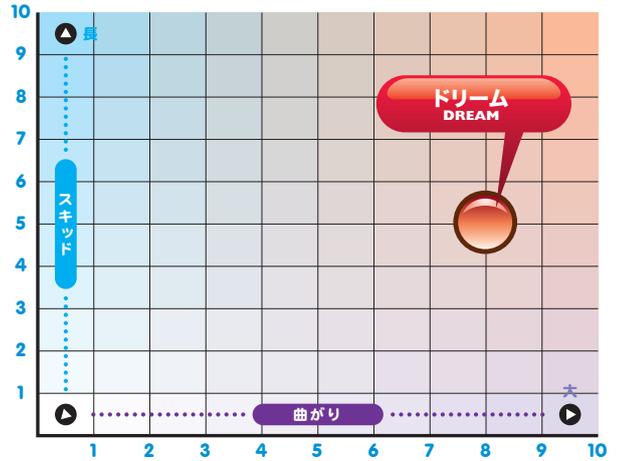
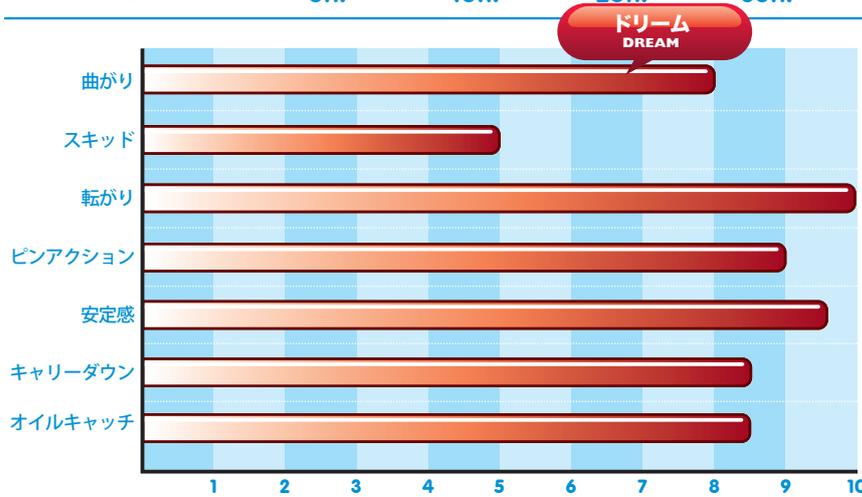
PAPからピンとの距離 インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

この度ABSは新たに900 GLOBAL社と販売代理店契約を結び、7月からその第一弾となるDREAMを発売する運びとなりました。900 GLOBAL社は生き残りをかけて、新しいウレタン素材からそれに纏わるケミカル配合、今までと異なるテクノロジーを受け入れ、全く新しいメーカーとして生まれ変わりました。

新しくなった900 GLOBAL社はこれから”ENGINEER SERIES””PRIME SERIES””PREFERRED SERIES””SELECT SERIES”とパフォーマンス毎に4つのカテゴリーに分類され、これから各々特色のある性能を皆様に提供できることでしょう。

今回のDREAMはENGINEER SERIES(一番上位のカテゴリー)のPearl素材で仕上げられています。

投球した第一印象は、「とにかく良く転がり続ける」ところです。Continuous系の中でもかなり高いレベルで転がり続けるイメージで、放たれた瞬間からピンヒットまで転がり続ける感じは、自分の転がり感以上のものを感じさせてくれるでしょう。リアクションイメージは常にレーンとのコンタクトを取りながら細かく軸移動する曲がりとも言うのでしょうか。しっかりと曲がり幅は出るなかで扱いやすくコントロールしやすく、ピンを倒すだけの入射角がしっかりと取れるというのもDREAMの特性としてでています。

また低めのピンアクションは転がり続けるリアクションとの相乗で、押し込む強さとして実感できると思います。

生産拠点が変わり、カバーストックを含めボールを構成するテクノロジーも変われば、今までの900 GLOBAL社よりも高性能・高品質になるのも頷けます。

特記事項

生産拠点が変わりカバーストック、コアテクノロジー、すべてにおいて世界的にシェアの高い技術を導入できるようになった900 GLOBAL社。今後このメーカーから目が離せません。